

山 弓 連

平成21年2月
発行

平成20年度 山梨県（甲府市）地域社会武道

（弓道）指導者研修会報告書 受講生 京ヶ島俊人
平成20年度山梨県（甲府市）地域社会武道（弓道）
指導者研修会が下記のとおり実施されました。山梨
県弓道連盟では、範教錬士会の事務局が中心となり
準備運営を勧めてきました。

加盟団体名 山梨県小瀬スポーツ公園武道館
所在地 山梨県甲府市小瀬町840
代表者名 山梨県体育協会
電話番号 055-243-8588
開催期間 平成20年11月29日（土）
午前9時より平成20年11月30日（日）
午後4時まで

派遣講師名

中央講師 主任講師 久保田 清先生 範士八段
中央講師 久田 博康先生 教士八段
地元講師 中沢 利正先生 範士八段
地元講師 天野 裕先生 教士六段

武道種目名 弓 道 参加者数 44名

研修会が開催された2日間ともに天候に恵まれ研修
を受ける者にとって絶好の弓道日よりとなりました。
この研修を振り返り、参加して本当によかったと思
っているところです。

この二日間の講習では、一手行射、持ち的、一つ
的等を行い、行射はもちろんのこと姿勢、体配の大
切さなど、気合いのこもった丁寧なご指導を頂く事
ができました。特に感銘を受けたのは、講師の先生
方の弓道へ向かう姿勢です。言葉の端々に「ご自身
にとっても厳しい人」であることを感じ取ることがで
き、改めて尊敬の念を抱いた次第です。

正しい射、正しい姿勢、正しい体配を身に付ける
ためには自分自身への厳しさが必要であることを教
えて頂いたことに気づきました。武道憲章の第一条
（目的）に、武道は武技による心身の鍛練を通じて
人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成する事
を目的とする。とありますが正に先生方は、指導者

にふさわしい人格と高い技術を身に付けておられる
事に感動しました。

私はといえば、練習方法は1人で行うことが多く、
一射すればどこが悪いのか、一射すればこれでいい
のか、一射すればどこをどうすればいいのか、矢所
を確認すればなぜここに飛ぶのか、自分の射をビデオ
に撮ればダメだこりゃ。と悩むことばかりの連続
で、1人で練習することの限界を感じ、こんな練習
をしていて果たしてこのままでより高いレベルの技
術を身に付けることができるのか不安に感じている
ところでした。また、特に姿勢体配は、わかっている
つもりやってるつもりできるつもりでいても本当
に正しくできているのか、あるいは行射にしても見
て頂かないと自分ではわからないことがたくさんあ
ります。そういう意味で、今回講師の久保田先生、
久田先生の的確なご指導を頂いたお陰で、自分の目
指すべき射や注意すべき姿勢体配がはっきりしてき
たように思いました。悩みや不安も一気に吹き飛ん
だ気がしています。さらに久保田先生や久田先生か
らの心に残るお言葉の一つ一つに脳細胞の全てが納
得し、弓道への修練がよりいっそう魅力あるものに
見えてきたところです。

弓道教本第1巻に躰、慎、和敬、克己、反省の心
が大切であるとありますが、自分で自分自身を躰け、
慎みの心を持ち、周りの人の気持ちを考えて行動す
る和敬の念、身体と技術と心をより鍛える克己心、
そして反省することの大切さ。向上心を持たずして
技術の向上はもちろん、自分の身体をコントロール
できなければ、心技体の言葉もあり得ないことを痛
感しているところです。

最後になりましたが講師の先生方二日間ご指導し
て頂き本当に心より感謝申し上げます。

山梨県弓道連盟

平成20年度 納射会

平成20年12月14日（日曜日）

小瀬武道館弓道場参加申し込み67名

競技開始 午前10:13

競技終了 午後12:33

本年最後の大会となる平成20年度 納射会が行わ
れました。未明からの冷たい雨の中にもかかわらず

昨年の納射会より10名も多い67名の参加申込を頂きました。競技の前には峡南・峡西ブロック、峡東ブロックによる四人一つの射礼、五人持ちの射礼が行われ、また参加選手の皆さんには、今年一年の修練の総決算とも言えるような素晴らしい大会となりました。大会成績は以下のようになりました。

| | 氏名 | 称号段位 | 所属支部 | 的中数 | 備考 |
|-----|------|------|------|-----|-----------------|
| 優勝 | 高部保延 | 錬士五段 | 都留支部 | 5 | ○ 射詰め競射により確定 |
| 準優勝 | 古屋清記 | 五段 | 山梨支部 | 5 | ×2. 3位遠近競射により確定 |
| 3位 | 松田恭昭 | 錬士五段 | 甲府支部 | 5 | ×2. 3位遠近競射により確定 |

山梨県弓道連盟平成20年度 初射会

平成21年1月11日(日曜日) 小瀬武道館弓道場

参加申し込み選手71名 競技開始 AM 10:24 終了 PM 13:12

◆ 成績 (計6射) ◆ 表彰1位～3位

| | 氏名 | 段位 | 所属支部 | 的中 | 備考 |
|-----|-------|----|-------|----|----------|
| 優勝 | 山下弘行 | 五段 | 山梨支部 | 5 | 射詰競射○○○ |
| 準優勝 | 豊田浩正 | 二段 | 甲府支部 | 5 | ○○× |
| 3位 | 不動田光熙 | 錬五 | 上野原支部 | 5 | × 競射(遠近) |
| 4位 | 竹村榮壽 | 錬五 | 甲府支部 | 5 | × 競射(遠近) |

4中者8名にて遠近競射により5. 6. 7位確定

◇5位. 佐野辰巳. 南部支部 ◇6位. 芦澤茂幸. 笛吹支部 ◇7位. 京ヶ島俊人. 教職員支部

なお、優勝者には高部保延様(都留支部)より弓道の置物、1位から7位までには不動田光熙様(上野原支部)より葉牡丹の鉢植えが贈られました。

審査部事業報告

20年度(11月・12月分)

審査部長 佐野辰巳

本年度185回 186回の審査が下記の通り実施されました。平成20年11月9日及び24日行われ、2日間で233名が受審されましたが、155名の合格者がありました、結果は次のとおりです。

| | 9日 | 24日 | 2日間の合計 | | 受審者 |
|----|---------|---------|---------|--|-----|
| 査定 | | | | | 119 |
| 2級 | 0 | 6 | 6 | | |
| 1級 | 24 | 48 | 72 | | |
| 初段 | 24 (17) | 32 (22) | 56 (39) | | 32 |
| 二段 | 7 | 8 | 15 | | 43 |
| 三段 | 1 | 1 | 2 | | 23 |
| 四段 | 2 | 24 | 26 | | 16 |
| 合計 | 58 | 97 | 155 | | 233 |

*今年初めてドイツ生まれの人が受審されました。

*査定審査で学科点に赤点の人が多く見られました。

*三段・四段を受審した人達には射品射格にもう少し修練が望ましい。

*上位を受審する人達は、早め竹矢と竹弓で練習してください。

「編集後記」 記事送付先 新藤康平

甲府市湯村1-7-406 電 252-1938

メール s-kouhei@maroon.plala.or.jp